

会議録

会議体名称	平成25年度 新ホール利用者懇談会(第3回)	
事務局(担当課)	文化商工部文化デザイン課	
開催日時	平成25年9月19日(木) 午後7時～8時30分	
開催場所	生活産業プラザ 地下 展示場	
出席者	座長	佐藤慎也(日本大学理工学部建築学科准教授)
	構成団体	合唱団大塚、南大塚ネットワーク、舞台芸術学院、豊島区邦楽連盟、劇団ムジカフォンテ、豊島区舞踊連盟、美空ひばりフィルムコンサート事務局、豊島区民踊連盟、豊島区管弦楽団事務局、現庁舎周辺まちづくりを考える会、豊島区吹奏楽団事務局
	オブザーバー	有限会社空間創造研究所 所員2名
	区	生活産業課長、拠点まちづくり担当課長
	事務局	文化商工部長、文化デザイン課長、文化施策担当係長(文化環境整備)、文化施策担当係長(文化環境整備)主任主事
公開の可否	非公開	
非公開・一部公開の場合は、その理由	豊島区行政情報公開条例第7条第5号に掲げる非公開情報に該当する事項について審議等を行なうため。	
会議次第	<p>1. 新ホール・新区民センターの設備、運営について</p> <p>(1) 設備(客席、ロビー等)</p> <p>(2) 運営</p> <p>2. 池袋の街づくりと新ホール、新区民センターについて</p> <p>3. 事務連絡</p>	

<p>開会</p> <p>議事</p> <p>1. 新ホール・新区民センターの設備、運営について</p> <p>(1) 設備(客席、ロビー等)</p> <p>座長:今日は、新ホール・新区民センターの客席とロビーから話をしていきたい。前回同様、順番に話していただきたい。ここで話をまとめるというよりも、いろいろ皆さんからいただいたご意見をもとに設備案をまとめる。そういう意味で、いろんな意見を言っていていいと思っている。</p> <p>A氏:現在、当団体の年齢層が高くなっているの、区内の施設が使えるのは有難い。あうるすぽっとももう少し使いやすいといいが、客席の数は300席でちょうどいい。お客様も区内から来てくださるので、区民センター文化ホールくらいの大きさの方が自分たちの会にとってはちょうどいい。新ホールは期待の塊みたいなもの。いい人によるいい演目が見たいので、それなりの客席数がないとダメだ。</p> <p>B氏:客席の傾斜にもよるが、前の人の頭で舞台が見えにくくなる場合が多い。そのあたりを少し考えてほしい。ロビーに関しては、オブジェでも絵画でもいいが、豊島区らしいものが展示されていると豊島区のホールだと思ってもらえる。若い人たちは豊島区の知らないことがたくさんあると思う。郷土資料館な</p>
--

どにわざわざ行かなくても、昔の様子などの展示物がホールの中にあればいい。

C氏:客席の後方は音を後ろの壁に吸われてしまう。大きなホールに行くと自分の方に音が聞こえてこない。演奏する側と聴く側との一体感が得られない時がある。客席の形をプロのみなさんに考えていただきたい。外の音が一切漏れないように、また空調音も聞こえないようにしてほしい。ロビーの広がり、これから始まるという期待感が持てるものもいい。あうるすぽっとはロビーが広くてとてもいい。いい演奏が心の中まで響くような客席で聴きたい。

D氏:観客としてコンサートに行った時に思うのは、女性トイレの数が少ないということ。休憩時間内に間に合わないでトイレの数を多くしてもらいたい。正面の受付間口は広い方がいい。また、今の豊島公会堂には、次回の演奏会のチラシも掲示されていない。宣伝も兼ねて来場者に周知できるスペースがほしい。足元の段差やスロープの設置など、バリアフリーにも考慮してほしい。

E氏:観客が「またこのホールに来たい」と思うことが必要だ。東京芸術劇場、サントリーホールは素晴らしい。行くたびに特別な時間、幸せな時間を持てる。ゴージャスさ、特別感を持てる空間になったらいい。面積が限られているので広いスペースは難しいだろうが、すみだトリフォニーホールはロビーは広くないものの立体的にうまく作ってある。各フロアにスペースがある。新ホールは立地的にかなりアドバンテージがあるので、そういう雰囲気を作れば成功するのではないか。

F氏:国立小劇場は600席ぐらいで、邦楽にはとても使いやすい。新ホールは成人式、区の行事、興行で使われると思うので、300~400席の新区民センターに期待している。使いやすかった民間のホールがなくなってしまったので、自分たちには新区民センターの方がちょうど良いと思っている。豊島公会堂で邦楽鑑賞教室を開催しているが、23校の6年生1,000人を対象にすると2回に分けなくてはならない。大きな公会堂ができれば1回で済むのと思う。トイレはとても大事なこと。新歌舞伎座のトイレは一方通行で溜まることなく、とてもよくできている。パウダールームも並んでいて、ごった返すことがない。あうるすぽっとの楽屋には、だれでもトイレが1つしかない。出番前に4.5人待っている。そういうことを考慮してほしい。

座長:新区民センターへの具体的な要望があれば。

F氏:山台、所作台、金屏風、毛氈など邦楽に向く物を用意していただきたい。使い勝手がよければ利用者が増え、それにより施設も有名になる。

G氏:チケットを買う時には、客席のどの場所がいいかを聞いてから買うが、音響は客席の場所によって違うのか。

座長:多少違う。

G氏:そうだとしたら、せっかく新ホールをつくるのだから、みなさんが気分よく同じイメージで音楽などを聴けるような施設にしていきたい。バリアフリーは今以上に必要になってくるはずだ。ロビーについては、せっかく楽しく観たり聴いたりするのだから、ゆとりあるスペースの確保と次回の案内のコーナーを設けるのがいいのではないかと思う。

座長:音響はすべての席を同じようにはできないが、音響シミュレーション等の技術も発達しているので、ある程度のレベルにまではできる。

H氏:商業施設の1階にガラス張りの見学可能なリハーサル室を作り、区民が買い物に来ると楽団がそこで練習している風景に出会えるような、そのような発想があってもいいのではないか。それを含めて、前の公園のアプローチにもいろいろな企画が出ているが、催し物をする時には規制の問題があるので、区ならではの規制緩和のやり方について、消防署と話し合いながらできる状況が作れるといい。青山劇場が閉館するらしいので、都内にない円形の舞台にしようとか。使い勝手は悪くなるかもしれな

いが、そういった特色、特性を出すことで逆にいろいろな方々の印象に残ることもある。能舞台で現代劇をやることもあるのだから、伝統芸能でもいい。400、500席であれば多目的にせず、あえて他の発想でもいいのではないか。

I氏：観る側の立場では、1,400席あって小学生の1学年全員が入れるものもいい。高い場所に2,3列しかないような悪い所で観ることも、逆に印象に残る場合もある。一律にどこで観てもいいということではなく、悪い席で観る人には安くすればいい。結果的に1,400席を確保できればいいという考え方もあるのではないか。複合施設にある劇場は、ホール自体はいいのにそこへ行くまでに乗り換えが多かったりエレベーターが来なかったりする。高まっていく期待感にふさわしいアプローチになっていない。ロビーやホワイエを広くしてアプローチが素敵になればいい。公会堂と区民センターのロビー・ホワイエを共有化することによりスペースを省くこともできる。これから先、ICチップをチケットにはめ込んでホール入口でチェックすれば、トイレやロビーは一緒に利用できるようになるし、売店はホールと小ホールの観客を一緒に取り込める。そのような工夫ができるのではないか。いずれにしても、アプローチは「豊島区はいい」となるように工夫してもらいたい。外観はエコヴェールがついているようだが、光とグリーンを取り込んだ環境に配慮したエコビルと言われる施設の中にホールがあるのがふさわしいのではないか。

座長：資料を見ると、新ホールと新区民センターが通路で結ばれることになっているので、場合によってはそういうことも考えられると思う。

J氏：前の観客の頭で見えないことのないように、客席は千鳥配置にしてもらいたい。傘や女性の小物が掛けられるように、客席の背面に収納式のフックをつけてほしい。段差は足元灯が点いていても高齢者には危ない。これから高齢者が増えるのできちんとした方がいい。1,200席のキャパシティに対していちばん心配なのは、お客様の滞留場所だ。どこに並ばせるのか。指定席でも、30分や1時間前に来る人が多い。滞留スペースがあるのか。ひいては動線に繋がるので考慮すべきだ。女性トイレはどこに行っても少ない。男性3に対し女性7の割合でいい。休憩時間15分では間に合わない。また、バリアフリーの設計は十分考えてほしい。

K氏：公会堂は区の顔だ。我々は大きな団体で各区で大会があるので、各区の公会堂を知っている。豊島公会堂は歴史があるのがわかる。いろんな区の公会堂ができるたびに、いつ豊島区の公会堂ができるのかと思った。みなさんの意見は意見として、その中で東京一の公会堂にしたい。

B氏：震災等があるので避難経路をしっかりとっておいてほしい。災害時にどのようにしていくのか考えてほしい。

座長：建築基準法に基づいて、緊急時に避難できるように設計されるので問題ない。

H氏：リハーサル室や稽古場をつくる予定があるのか聞きたい。芸術団体にとっては稽古場がないのが共通の悩みだと思う。中心部に稽古場があって、芸術団体が集まっているということをアピールするための拠点になってもいいかと思う。また、10t車くらいは止められるのか。できれば2台以上は止められた方がいい。1台だと仕込みで1日取られてしまう。搬入経路をどれだけ合理的にできるかだ。今の段階でどう企画されているか。

文化デザイン課長：現時点では、積極的にリハーサル室をつくるとは言えない。区民センターとの共有は内部でも検討している。搬入経路と時間の問題については、今まで話を聞いた専門家の方々みなさんが言っていた。ガルウイングでエレベーター直結でそのまま搬入できることを考えている。駐車場も1台分はなんとか確保したい。時間帯の緩和について、30分、1時間でも延長できれば人件費のコストがかからないと聞いたので、延長料金はいただくが朝早くから夜遅くまで対応したいと考えている。

座長：資料にも、区民センターで練習などとも書いてある。

(2) 運営

座長：続いては運営面に移りたい。利用時間、予約の方法、利用料金、などについて順番に伺いたい。

A氏：私たちの会では新ホールをなかなか利用しきれないと思う。料金、人数からみると大変だと思うので、できれば新区民センターを使いたい。また、ホールにはより多くの客席数を確保していただきたい。そのために、受付やチケット売り場、ロビー、売店などは区民センター文化ホールとの共有にし、客席フロアとは分けて設置したらどうか。新ホールの経営については区がやっていただけることが公平であり、誰もが納得するのではないかと思う。

座長：利用料金は現状の公会堂と同じにはならないと思う。

A氏：区に(団体)登録していれば安くするなど工夫してほしい。晴れがましいところでやりたい。

B氏：区民に開かれたホールであってほしい。あうるすぽっとは区民優先の利用期間が限られている。区民なら割引するなどがあればいい。また、搬入の朝の時間も延長を考えてほしい。子どもが係わると夜の就寝の時間に影響があるので、朝早くから仕込みたい。

座長：今の公会堂は土・日・祝の全日利用料金は112,600円。他区のホールでは30～45万円。

C氏：利用者があまり負担を感じないようにしてほしい。利用料金はできるだけ安くしてほしい。区や財団の運営がいい。1,200～1,400席が満席になることは絶対はない。一般的に観客が1,000人を超えるのは非常に難しいので、利用者側と観客側との計算を上手にしていきたい。

D氏：いろいろなホールを借りる時に、利用者が市内か市外かで料金が異なるホールが多い。私たちは練習のために舞台面だけホールを利用することもある。舞台面だけ借りる時のパターンなど、料金体系もいろいろあると区民の方も区外の方も利用しやすいと思う。時間を前倒して入れてもらえると助かる。チケット販売について、現在、楽団の中と財団のチケットセンターとで販売しているので、1か所でまとめて買えるようなシステムにしてもらいたい。今の財団のチケットセンターでは、手数料を払っての郵送、現金で当日券を購入するなど手間がある。

E氏：安ければいいというより、施設に見合った料金にするべき。施設の申込み時に区の団体を優先することは問題ないが、(利用制限の)厳しさがいろいろで厳しいところは区民以外がほとんど使えない。区外の方も使えるようにすると、結果として埋まるのではないか。

F氏：あうるすぽっとは短い区民シリーズの中で希望の日を取るのが大変だ。利用料金は25%引きで民間と比べたら安いけど、2～3時間の公演でも全日借りている。新ホールは商業施設の上に建つので、エレベーターやエスカレーターは地震対策はどうなっているか。改修前の東京芸術劇場大ホールまでのエスカレーターは長くて、大丈夫かと思いつながら乗っていた。だいたい大きなホールは1階にある。避難のことをよく考えて設計してほしい。

G氏：運営は区が主体になるだろう。運営の面においてお願いすることは、利用料金のことしかないのではないか。

H氏：18歳以下の区民はこのホールの催し物が無料で観られるというふうになればいいと思う。

I氏：指定管理者制度で財団に運営をということかもしれないが、そうなった場合、財団は南大塚ホールや地域文化創造館も運営しているので、カップリングで練習室を使ったら割引にするなどどうか。南大塚ホールは月曜日から水曜日までほとんど空いている。中核には公会堂と区民センターがあるという、一体化した運営がいい。

座長：練習室は使う時間帯のピークがあるので、日中も含めて常に使われるということは少ないかもしれない。

い。

D氏:雑司が谷地域文化創造館は、上に教育センターが入っているので、平日の日中は音が出るものは使えないと言われた。旧平和小学校を利用していただいた団体が、今は土日に雑司が谷に来ている。雑司が谷はインターネットからではなく電話での申込みのみになっている。公会堂含めて、全部同じ方法で予約できるといいのではないか。

J氏:搬入の時間を早めると料金が割増しになるが、それでもいいので考慮してほしい。決められたこと以外はやらない紋切型のスタッフがいる。また、指定管理を導入して失敗している会館が多い。運営をせずに管理だけするからだ。管理と運営をしないといいホールはできない。

K氏:利用料金のことがかなり出ているが、都内でもだいぶ違う。歌舞伎や新劇に長期間貸し出せばいい。

座長:利用料金については、新しい施設に見合った金額を決めることになるだろう。

2. 池袋の街づくりと新ホール、新区民センターについて

座長:最後に、議題の「2. 池袋の街づくりと新ホール、新区民センターについて」。今回のこの2つの施設の建て替えにあたり、位置づけ、役割、もたらされるイメージについてを。

G氏:新ホールや新区民センターができると、環状5の1号線が平成31年に開通になり、庁舎前の明治通りが広がる。池袋駅から役所に行く歩道が広くなると、今以上の人通りが増えると想定している。豊島区は商業の街。こういう街の中に新ホールができると人が相当増えて、しかも年齢層の若い人が増えてイメージが変わる。

座長:順番に聞く時間がないので意見のある方からお願いしたい。

I氏:豊島区は便利な立地だ。歌舞伎は歌舞伎座へ、宝塚は日比谷へ、能は能楽堂へと、行きやすい。何でもできるホールをというのは地方の発想だ。池袋だからこれを観に行く、池袋だからこの施設があるという必然性がないといけない。アニメ・マンガ文化の聖地にするなら、そういう施設がある必然性を感じられるものでないと。歌舞伎は歌舞伎座に行けばいい。それ以上のものは観られるはずがない。

A氏:歌舞伎座まで行く人は一部の人だ。もっと身近な所でも観られるようにしてほしい。

I氏:歌舞伎座で観るから歌舞伎だ。池袋に作るホールである以上、その本質を見極めないといけない。

K氏:若い人向け、また一方的ではなく、日本文化を広めるには大きな目で見ないといけない。アニメだけでなくいろいろなものを作っていいのではないか。

I氏:アニメだけにして歌舞伎を否定する、というわけではない。シンボルになるために本質を考えましょうということだ。

座長:この会はそれぞれの立場でご意見を話す場なので、今のような多様なご意見が出てよろしいかと思う。

A氏:歌舞伎を学校教育の一環として観に行けるのはいいことだ。商業とホールとの関係は、池袋に来たら楽しい街になるように、周りにワクワクするようなものをセットにして考えてほしい。期待している。

J氏:施設のPRをターミナル中心に展開してほしい。作っても知られないことが多い。お金をかけてもドッキングして運営し、街を盛り上げてほしい。常に知らない人の目に届くようにPR活動してほしい。

B氏:文化の風薫るまちと言っているが、本当の文化とは何かをもう一度考えてほしい。区民のみならず日本の中でこのホールに通う人がどれくらいいるかを考えて、池袋駅の東口を出た時に「観たことないけど入ってみよう」と、思わず入ってしまうような集まれる空間になれば素晴らしい。

座長:もう少し時間があればもっとご意見を聞けるかと思うが、この辺りで終わりにしたい。3回にわたって意見を聞いてきたが、ここで終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

文化デザイン課長:いろいろなジャンルの方にバランスよく来ていただいた。これからホールの応援して下さるものと確信した。文化は人を寛容にする、多様な人を受け入れることができ、素晴らしいのは人によりいろいろな感じ方があり、正解がないことだ。今年度中に基本計画を策定する。みなさまの意見をその中に反映していく。どのように反映したかは書面でご報告する。12月にはパブリックコメントも実施する。ご案内するのでぜひご意見をお寄せいただきたい。

文化商工部長:3回にわたる熱心なご議論をありがとうございました。議論の状況については、1,200席では少ない、演目・項目を絞るようになどのご意見は区長に伝えている。ご議論の状況を分析していかにして基本計画に反映させるか考えていく。平成30年度の完成に向けて今後ともご協力をお願いしたい。

3. 事務連絡

事務局より、議事録の校正、確定版について連絡した。

閉会